

授業番号	B200890002				
科目名(英語標記)	経済政策AI(Economic policy AI)				
担当者(英語標記)	根本 敏則(Toshinori Nemoto)	履修開始学年	2	単位数	2

授業のねらいと到達目標 (DP,CPIにおける位置づけを含め)	多様化し、利害関係が複雑化する市場において、市場の役割、政府の役割について理解を深めることをねらいとする。授業ではミクロ・マクロ経済学の基本的な理論を復習し、「市場の失敗」の原因となる問題について学習し、問題解決のための経済政策の意義、同政策の立案・評価方法を身につけることを到達目標とする。
授業の進め方(履修条件、試験やレポートなど課題のフィードバック方法を含め)	授業は基本的に、板書で説明を行うため、必ずノートをとること。また授業中の積極的な質問を歓迎する。授業前半で経済政策を理解するために必要となる公共経済学、ミクロ・マクロ経済学の基礎的な理論を学習するが、各自で事前に予習、復習しておくことが望ましい。
成績評価方法・割合・基準	期末試験60%、授業内小テスト40%で評価する。
授業の予習・復習(1授業に必要とする事前事後学習の内容と時間数を含め)	予習: 授業前に教科書・資料の該当箇所を読んでおくこと。(60分) 復習: ノートや小テストを見直して、まとめることが重要である。(120分)
教科書	『公共経済学入門』 新世社 上村敏之著
参考文献	『ゼミナール経済政策入門』日経新聞社、岩田他著

回数	授業項目	授業内容
第1回	経済政策とは	経済学の考え方と経済政策の目標
第2回	経済学の基本	需要曲線と余剰の概念
第3回	市場の価格メカニズム	市場の均衡、消費者余剰と生産者余剰
第4回	価格政策と市場の失敗	市場の失敗、資源配分の効率性と公平性
第5回	公共財(1)	非競合性と非排除性 公共財の需要と供給
第6回	公共財(2)	政府の役割、補助金
第7回	外部性(1)	正の外部性と負の外部性
第8回	外部性(2)	外部経済・不経済の内部化
第9回	規制の経済学(1)	完全競争市場と非完全競争市場 自然独占
第10回	規制の経済学(2)	独占企業、価格規制
第11回	財政制度	国・地方の予算・決算
第12回	税制	国・地方の税制
第13回	政策目的税	受益者負担制度・環境税
第14回	公共投資	フロー効果・ストック効果
第15回	まとめと試験	第1回から第14回までの授業の振り返り、確認試験及びその解説